

## 会員の皆さまへご報告

千葉県PTA連絡協議会

日頃より千葉県PTA連絡協議会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

千葉県PTA連絡協議会(以下、千葉県P)では、令和7年1月30日に臨時総会を行い、令和7年3月31日をもって公益社団法人日本PTA全国協議会(以下、日P)から退会することを、全会一致で決議いたしましたのでご報告いたします。また、先日2月13日には千葉県Pの理事会が開催され、その場においてもその総括と今後の事について、県内各地からご参集の理事の皆さんと協議をいたしました。県内での所定の手続きがひと段落いたしましたので、改めて県内の会員の皆さまへご報告させていただくことにいたしました。

千葉県Pは全国60ある協議会のうち会員数で3番目に大きな組織です。これまでもその規模からなる責任において、日Pの活動などについて意見を述べさせていただいてきました。特に、令和4年度の日Pの約5000万円にのぼる赤字会計については、皆さまからお預かりしている貴重な会費がどのように使われているのかと問い合わせをしまいいりました。結果的に、逮捕者が出るといった不正な使われ方がされており、それについても情報開示や説明を求め続けていました。

これまで千葉県Pは、日Pに対し法令に基づく情報開示請求や臨時総会の開催請求など、すべての事柄について積極的に関与してまいりました。その内容や今後の事について議論をしていきたいと求めてまいりましたが、最終的に求めているような返答はなく今日に至っております。

日Pの活動の原資は会員の皆さまからお預かりしている会費です。その会費がどのように使われているのか、有効的に子どもたちや会員のために使われているかチェックをすることはとても重要であると考えています。もし、正しく使われていなかったり時代の変化によって移り変わることがあれば、それをみんなで話し合い、正しい方へ導いていくのも役割のひとつであると考えていました。しかしながら、現状の日Pは情報開示もなされない、県の意見も聞いてもらえないという状態では、話し合いはもとより会員の皆さまへの説明すらすることができません。

上記のようなことを踏まえ、今年度の千葉県Pの定期総会(令和6年6月開催)では、今後の日Pに対し1年間かけて協議を続けていくことをお約束し、今後の千葉県Pの活動も含めた「県P事業見直し対策特別委員会」を立ち上げ、協議を重ねてまいりました。理事の皆さんとも理事会ごとにご意見をいただきながら、最終的に前述の臨時総会にて日Pからの退会を決議いたしました次第です。

何よりこの結果については正直残念でなりません。全国規模での活動から撤退することや、会の存続や存在意義を考える上で苦渋の決断であったことはご理解いただきたいと思います。しかしながら、貴重な皆さまからお預かりしている会費を有効活用できていない、ましてや不正に利用されていたとなれば、この決断もやむを得ない結果であることは確かです。そして、PTAそのものの存在意義を脅かすような活動不全に陥っている状態の日Pに加入していることへの疑問も日に日に増していったことも事実です。

今後千葉県Pは理事会や特別委員会で話し合われた内容なども参考に、事業の見直しを通して県内の会員の皆さまが活動しやすい環境づくりをするなど、さらなるバックアップを図り、子どもたちの健全育成と、社会教育団体としての役割を果たしていく所存です。また、日Pから退会したからといって周りの協議会との連携がなくなるわけではありません。情報連携は協議会の大きな役割でもあります。情報交換は引き続き行っていく、千葉県Pの活動の充実につながるよう図っていきます。そしてそれらが何かしらの形で子どもたちや会員の皆さまに恩恵がいくよう活動していくことを改めてお約束いたします。あわせて、理事会などを通して各郡市の皆さまとも引き続き意見交換ができるように努めてまいりますので、各郡市の協議会の活動にもぜひ目を向けていただければと思います。

これからも会員の皆さま、そして千葉県PTA連絡協議会に関わる諸団体の皆さまにおかれましては、変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願い申しあげ、ご報告とさせていただきます。